

林業技術センター  
普及班便り  
(第20回)

## ◆あなたの山づくりを応援する林業普及 いわての林業経営者【その10】 ◆林業と無縁の世界の マドロスさんからの転身!

一 はじめに  
今回は、久慈市侍浜町で林業経営  
に取組む森岩勝也さん（75歳）を紹  
介します。



森岩勝也さん

### 二 私の人生を変えた父

(1) わたしはマドロスさんだった

昭和30年代の森岩さんは、林業に  
は全く興味がなかったので、学校を  
卒業後、世界を股に掛けた船員（現・  
日本郵船）になる道を選んだのだそ  
うです。

横浜を拠点に、「バンクーバー」・  
「シアトル」・「ニューヨーク」・「パ  
ナマ」・・・頭に浮ぶ都市は数限り

ない。そんな「林業」とは全く縁の  
無い世界で青春時代を過ごしていま  
した。

(2) 生活が一変

昭和35年27歳の時に、父親から「家  
業を継ぎなさい」と半ば強制的に実  
家に戻され、「海の上の生活から山  
の中の生活」へと生活が一変したそ  
うです。「父はその当時農業委員や  
議会議員をしながら農林漁業を営  
み、林業になによりも力を注いでい  
た」と、在りし日の父親の姿を懐か  
しく話していました。



当時植栽した林を背に

(3) 厳しく「林業のいろは」を仕込  
んでくれた父

林業に全く興味を持っていなかった  
森岩さんを、父親は山で仕事をす  
る時には欠かさず山に連れて行き、  
厳しく「林業のいろは」を仕込んで  
くれました。「そんな繰り返しの中  
から、少しずつ林業に興味が出てき  
て、今の私が在るのです」と話して  
いました。



こんな大径木も（侍浜マツ）

### 三 『山男』にしてくれた林研グ ループ

(1) 林業経営「ノウハウ」を習得

父親の勧めもあって、森林組合青  
年部に仲間入りした森岩さん。15人  
程の仲間の中でも若いほうで、諸先  
輩から学ぶことの多い立場でした。  
先進地の指導林家の視察や林研グ  
ループの仲間との活発な活動行うち  
で、今の林業経営の「ノウハウ」を  
習得したそうです。

(2) 酒を酌み交わしながら

ふり返れば、施業のこと、地域の  
こと、嫁のこと等々、集まるたび熱  
く議論したものです。時にはお酒を  
酌み交わしながら早朝まで2日がか  
りの激論をしたこともありました。  
体は、二度とあの頃に戻れないが、  
当時の「熱い思い」は今でも忘れず  
に持っているとのことでした。

(3) 林研グループの仲間感謝

当時の熱く議論を交わした仲間が  
私を『山男』にしてくれたので、当  
時の林研グループの仲間感謝した  
いと話していました。

### 四 評価された『自己流の経営』

(1) 農林水産大臣賞など受賞

学んだ経営方法を活かしながら、  
「木は伐ったら売る、木は伐ったら  
植える」と『自己流の経営』方針を  
打ち立て、所有森林の整備に取組ん  
できました。その結果、昭和63年に  
林業経営推奨行事経営部門で林野庁  
長官賞を受賞、さらに、平成11年に  
は同部門の農林水産大臣賞を受賞し  
ました。その間にも数々の賞を受賞  
し評価されています。これは、亡き  
父や林研グループの仲間のお陰だと  
話す森岩さんでした。

林業技術センター 普及班